

講習の名称	【選択】暮らしに役立つ工学（情報・エレクトロニクス／機械システム）
講習の概要	機械学習や人工知能が一般社会にも広く活用されている。人の知能活動を機械が補助するとは、どういうことなのか？機械学習や人工知能を牽引してきた分野の一つである自然言語処理をアプリケーションとして、データ解析方法などを紹介する。（鈴木） リンク機構の解析および設計について、以下のポイントについて講義する。 1. 機械装置におけるリンク機構の役割 2. 対偶と自由度 3. リンク機構の入出力関係 4. リンク機構の運動伝達性の評価 5. リンク機構を用いた福祉機械の設計（南後）
担当講師	鈴木 郁美（大学院理工学研究科担当助教） 南後 淳（大学院理工学研究科担当准教授）
講習開設日	平成 30 年 8 月 8 日
開設時間	8:50～16:10
開催地	山形県米沢市
会場・教室	工学部 4 号館 1 1 6 教室
対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校教諭、中学校教諭（理科）、高等学校教諭（理科）、高等学校教諭（工業）
受講予定人数	13 人
受講者への連絡事項（持ち物等）	持ち物：ノート、筆記用具
評価基準	合格基準 ①全時間出席していること ②テストの得点が60点以上であること
評価の観点	講習内容を理解し、説明（記述）もしくは実践できるか否か。
その他特記事項	